

教科名	国語	学年	3 学年
-----	----	----	------

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。
学年の目標	・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを 広げ ることができるようにする。 ・言葉がもつよさを認識するとともに、 幅広く 読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4	4	オリエンテーション	○年間計画を理解し、見通しをもつ。	○スピーチ（抱負等）、 ○確認テスト（生徒実態把握）	【知識・技能】 1 段階：相手を見ながら、話すことができる。 2 段階：語彙を増やすことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：自分の話したい内容を決めて話すことができる。 2 段階：自分の話したい内容を、相手に伝わるように工夫して話すことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：知りたい・伝えたいという気持ちをもつことができる。 2 段階：興味・関心の幅を広げることができる。
					評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）
5 ・ 6	5	○説明的文章 ①	【知識及び技能】 ○説明書や求人票の内容が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○求人票に書かれている内容を理解し、自分の適性を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○卒業後の自分の生活への期待感をもつ。	①身近な説明書や求人票の内容を理解する。 ②働く環境や条件を比較し、自分の適性にあった職場や仕事について考える。 【職業：働き方を考える】	【知識・技能】 1 段階：求人票に書かれている内容を読み取ることができる。 2 段階：複数の求人票を見比べることができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：求人票の中から、自らが気になる記述を探することができる。 2 段階：自分の好みに合わせて、会社を選ぶことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：自らの働く動機に気づくことができる。 2 段階：自らの働く動機を言葉で表現することができる。
					評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）
6	2	○川柳	【知識及び技能】 ○日本のさまざまな定型詩の形式を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○テーマに沿った川柳を詠むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○言葉で表現することに興味関心をもち、語彙を豊かにすることができる。	① 1 7 音の形式を理解し、川柳を詠むことができる。（承諾が得られた生徒の川柳は、町教育委員会が編纂している町の文芸誌に応募する。）	【知識・技能】 1 段階：川柳について、歴史や形式を意識して、興味・関心をもつことができる。 2 段階：川柳の歴史や形式を理解して、リズムを意識しながら音読することができる。
					【思考・判断・表現】 価) 1 段階：テーマを意識して、形式に合った川柳を詠むことができる。 2 段階：川柳を作成する材料を集め、テーマに沿った作品を詠むことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：クラスメイトの発表時、話の内容に興味関心をもって聞くことができる。 2 段階：クラスメイトの川柳に対して、自らの興味関心を交えながら感想を発表できる。
					評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）
7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	18	○敬語、言葉遣い ○履歴書・礼状	【知識及び技能】 ○簡単な敬語や丁寧な言葉遣いを理解できる。 ○履歴書や礼状の書き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○自己アピールや感謝の気持ちを言葉で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○自分の目指す将来に近づいているという期待感をもつ。	①単語だけの会話に陥りやすいことや、語尾の「です・ます」の言い忘れなど、注意すべきことを理解する。 【自立活動：コミュニケーション】 ②履歴書とは何かなど理解を深め、書き方を身に付ける。 ③お礼状の意味を理解し、現場実習でお世話になった実習先に心を込めてお礼状を書く。 【職業：現場実習】	【知識・技能】 1 段階：日常よく使われる丁寧な言葉の意味を理解する。 2 段階：知っている丁寧な言葉の数を増やし、普段から使えるように練習する。
					【思考・判断・表現】 1 段階：相手や場所により、言葉を使い分けることができる。 2 段階：相手や場所により、丁寧な言葉を適切に使い分けることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：面接練習などを通して、丁寧な言葉が自分の将来に深く関わっていることを理解する。 2 段階：丁寧な言葉を使って、相手とコミュニケーションを図ることができる。
					評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）

11 ・ 12	4	○手紙、はがき、コミュニケーションツール	【知識及び技能】 ○郵便はがきや封筒、便せんなどの使い方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○自分の考えなど伝えたいことを明確に文章で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者とコミュニケーションを図ることの大切さを知る。	①手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさ、恐さ（禁忌）を理解する。 ②年賀状を書くことをとおして、はがきや封書など、郵便の形式について理解する。	【知識・技能】 1 段階：文字の組み立て方や形式を意識して、形を整えて書くことができる。 2 段階：郵便はがきや封筒、便せんに合った書式、文字の大きさと書くことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。 2 段階：伝えたいことを明確にした上で、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：コミュニケーション手段としての手紙や SNS には、ルールがあることを理解できる。 2 段階：適切なコミュニケーションの取り方があることを知り、自らの生活に生かそうとする意欲をもつ。 評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）
	6	○説明的文章 ②	【知識及び技能】 ○身近にある説明書（家電・薬など）や広告・チラシの内容が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○身近にある説明書（家電・薬など）や広告・チラシに書かれている内容を理解し、自分の生活に生かすことができるか判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○卒業後の自分の生活に取り入れようと意欲をもつ。	①身近にある説明書（家電・薬など）や広告・チラシの内容を読み取る。 ②説明書（家電・薬など）や広告・チラシの内容から、卒業後の生活に生かすことができるものを考える。	【知識・技能】 1 段階：説明書に書かれている内容を読み取ることができる。 2 段階：内容を読み取り、正しい活用方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：説明書の中から、自らが気になる記述や疑問に思う点を探すことができる。 2 段階：説明書に書かれている内容から自分の生活に生かせるものを選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：身近にある説明書（家電・薬など）や広告・チラシに興味をもつ。 2 段階：身近にある説明書（家電・薬など）や広告・チラシに触れて、自らの生活に生かそうとする意欲をもつ。 評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）
1	4	○かるた・百人一首	【知識及び技能】 ○伝統的な季節の行事や遊びを理解して自らも行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○しんとくふるさと歌留多を、抑揚をつけて朗読できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○伝統的な季節の遊びを楽しむ。	①短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 ②しんとくふるさと歌留多でゲームを行う。	【知識・技能】 1 段階：伝統的な文化に触れて、興味・関心をもつことができる。 2 段階：短歌を言葉のリズム感を実感しながら、声に出して読むことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：内容を意識しながら、抑揚をつけて短歌を朗読することができる。 2 段階：短歌の内容を理解して、作者の思いを考えながら、朗読することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：かるたのルールを理解することができる。 2 段階：かるたのルールを守りながら、積極的な態度でゲームできる。 評価方法：参加意欲（取り札数）、参加態度（出席率など）
2 ・ 3	8	○卒業を迎えて	【知識及び技能】 ○1 2 年間の学校生活が終わることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○小中高 1 2 年間を振り返り、現在の心境を文章で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○人生の節目を自覚し、未来に向かう気持ちをもつ。 ○一つの終わりを自覚することで、次の生活への円滑な移行に心がける。	○さまざま（喜怒哀楽）な思い出を文章で表現する。 ○1 8 年間の自分の年表を作成する。	【知識・技能】 1 段階：自らの気持ちを文章で表現できる。 2 段階：語彙を増やし、効果的な表現を心がけることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：伝えたい内容を明確にして表現することができる。 2 段階：文章構成を考え、効果的に文章を配置することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：楽しかったりうれしかったりした過去の出来事を中心に振り返る。 2 段階：自らの過去を振り返ることが、未来へのヒントになることを理解する。 評価方法：平常点（主に提出物）、参加態度（出席率、発言回数など）